

生薬学総論 (2)



漢方方剤の基礎

令和2年4月30日
薬用資源学 井上 誠

性味 (薬味)

酸 ：水様性便などの柔らかいものを固めたり、汗や鼻水などの漏れでるものを止める。 (収斂、収縮、固渋)	肝
苦 ：余分な熱や水を取り除く。熱による咳を止め、余分な水による胃もたれや下痢を改善する (清熱、瀉下、鎮静)	心
甘 ：胃腸の働きを整えて、気・血を補い、急性の症状を緩和する働きがある。 (滋補、和中、緩急)	脾
辛 ：気・血の巡りを良くして発汗作用を促す。気を体表に導き、体に防衛力をもたらす。 (発散、解表、健胃)	肺
鹹 ：乾燥した状態を潤したり、固まっているものを柔らかくしたりする作用がある。 (軟堅、散結、瀉下)	腎

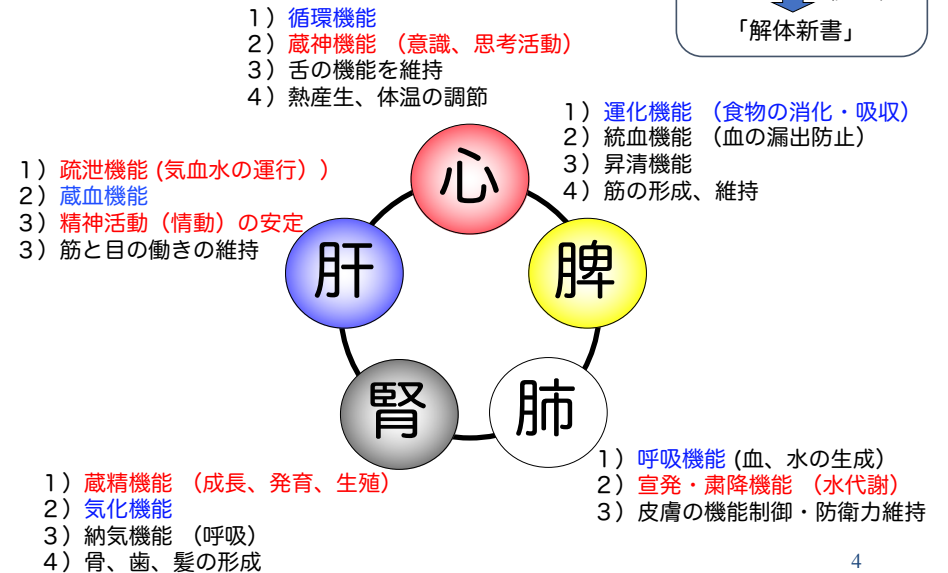
薬性 (四気)

寒 ：体を強く冷やし、熱をとり除いたり、熱による症状を鎮めたりする。 (沈降、鎮静、消炎作用)	黄芩、黄柏、黄连、石膏、大黄
涼 ：体を冷やして、熱をとり除いたり、熱による症状を鎮めたりする。 (寒薬の作用よりも少し弱い)	芍薬、麦門冬、連翹
平 ：体を温める作用も冷やす作用も持っていない。	甘草、桃仁、茯苓、猪苓
温 ：体を温めて冷えを取る他、体の様々な機能を活性化させる。 (熱薬の作用よりも少し弱い)	桂皮、細辛、当归、人参
熱 ：体を強く温めて冷えを取る他、体の様々な機能を活性化させる。 (身体を暖め、新陳代謝を促進する)	乾姜、呉茱萸、附子

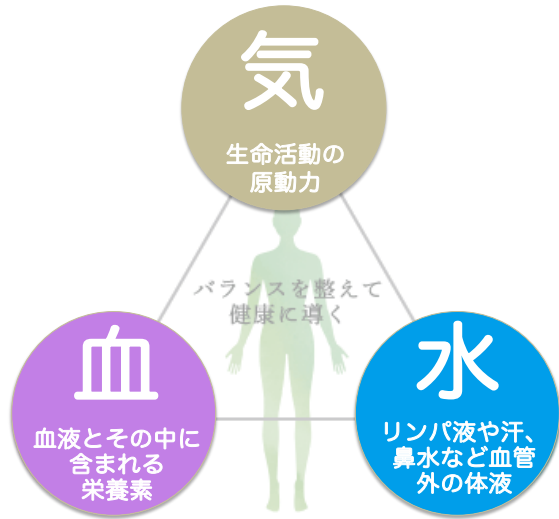
漢方の基本概念

五臓

オランダ医学書
「ターヘルアナトミア」
↓ 杉田玄白ら
「解体新書」



気・血・水



5

気・血・水

生体を「気」「血」「水」の三要素でとらえる病態把握法を「**気血水論**」という。

- 「**気**」：生命活動を営むために必要な生命力、精神力などエネルギーで不可視である。
先天の気+後天の気（水穀の気<営気+衛気>+宗気）
- 「**血**」：後天の気の変化したもので、現象的には血液とその代謝産物であり、全身を巡り細部の組織まで栄養を与える。気によって高次の制御を受けている。
- 「**水**」：後天の気の変化してできたもので、血液以外の体液成分であり、さらさらしたものを「**飲**」、粘るものを「**痰**」という。

6

気の変調

- 気逆**：下方に収まるべき気が上昇している。 [理気剤]
不眠症、イライラ感、動悸、めまいなど。
- 気鬱**：気が滞っている。 [理気剤]
のどがつまった感じがする、焦燥感、憂鬱など。
- 気虚**：気が不足している。生命活動の衰え。 [補気剤]
無気力、倦怠感、だるい、働く意欲がわからない、息切れなど。

7

理気薬

気鬱（気滞）：過度の緊張や興奮、過労による気の流入過多、あるいは、熱や水による気の停滞、さらには、肝の働きの低下により**気の循環に停滞**をきたした病態である。原則的に抑うつ傾向があり、停滞した部位によって種々の症状を示す。

- [症状] ○喉のつかえ感、喉にものがへばりついた感じ
○頭重、頭帽感
○四肢のしびれや痛み、朝起きにくい
○胸のつまり感、げっぷ、腹部膨満感、腹痛

[理気薬]



8

理気薬

気逆：気鬱の一種で、特に上半身に熱があり、気鬱が進展してのぼせが強くなる。本来ならば体の中心部から末梢へ、あるいは、上半身から下半身へめぐべき気が逆流（気の上昇）したために起こった病態で、自律神経や心身の失調によって生じることが多い

- [症状] ○冷えのぼせ、顔面紅潮、動悸、頭痛、鼻血
○顔面や頭部の炎症性の皮膚疾患
○嘔吐、吐きそうな咳嗽、不安や焦燥感
○臍上悸（軽く触るだけで腹部大動脈の拍動を感じる）

[理気薬]



血薬

血液不足または血行不良によって起こる諸症状と瘀血が原因で起こる諸症状に対して、補血または駆瘀血作用によって改善をはかる薬物。通常、補血薬と駆瘀血薬に分類される

1. 「血虚」：血の量に不足を生じた病態

「血虚」を改善する生薬＝「補血薬」
当帰、芍薬、熟地黄、酸棗仁、小麦など。

2. 「瘀血」：血の流通（循環）に障害を来した病態

「瘀血」を改善する生薬＝「駆瘀血薬」「活血薬」
牡丹皮、紅花、当帰、川芎、桃仁、大黄など。

補気薬

気虚：腎の先天的な虚弱や機能低下、肺や脾の機能低下による気の生成の低下あるいは過労、不摂生、ストレス過剰、慢性疾患、重病による気の過剰な消費によって起こる。

- [症状] ○気力がなく、全身倦怠感、疲れやすい
○食欲不振、内臓のアトニー
○食事をするとすぐにだるくなって眠くなる

[補気薬]



血虚の診断基準

血虚スコア			
集中力低下	6	顔色不良	10
不眠、睡眠障害	6	頭髪が抜けやすい	8
眼精疲労	12	皮膚の乾燥と荒れ、あかぎれ	14
めまい感	8	爪の異常	8
こむら返り	10	知覚障害	6
過少月経・月経不順	6	腹直筋痙急	6

判断基準：いずれも顕著に認められるものに当該のスコアを与え、程度の軽いものには各々の1/2を与える。総計30点以上を血虚とする。

瘀血の診断基準

瘀血スコア					
	男	女		男	女
眼瞼部の色素沈着	10	10	臍傍圧痛抵抗 左	5	5
顔面の色素沈着	2	2	臍傍圧痛抵抗 右	10	10
皮膚の甲錯	2	5	臍傍圧痛抵抗 正中	5	5
口唇の暗赤化	2	2	回盲部圧痛・抵抗	5	2
歯肉の暗赤化	10	5	S状部圧痛・抵抗	5	5
舌の暗赤紫化	10	10	季肋部圧痛・抵抗	5	5
細絡	5	5			
皮下溢血	2	10	痔疾	10	5
手掌紅斑	2	5	月経障害		10

20点以下：非瘀血病態、21点以上：瘀血病態、40点以上：重症瘀血病態
スコアはいずれも明らかに認められるものに当該のスコアを与え、軽度なものは1/2を与える。

13

補血薬

[補血薬] 血液成分を補い、血液不足または血行不良によって起こる貧血、倦怠感、低血圧、めまい息切れなどの諸症状の改善をはかる薬物。



駆瘀血薬

[駆瘀血薬] 体内に鬱積した非生理的な血液を排除することにより血行を調え、冷え・のぼせ・顔面紅潮・吹き出物・内出血・精神不安などの諸症状を改善する薬物。



水の変調

・水毒（水滯）とは、漢方医学的には人体の構成成分である津液（体内の活性のある正常な水分、正常な体液を津液と呼ぶ。唾液、涙、鼻水、汗、尿などもこれに含まれる）の停滞のこと。
・西洋医学的には細胞内液、組織液、リンパ液などが、主として組織間、消化管内、体腔内に異常に停滞したことを意味する。また、液体成分（水分、電解質、栄養分など）が、正常な代謝経路から外れて貯留することで、血中の有効水分とはならないため、血中水分量は不足の状態にあると考えられる。

- 浮腫 : 組織間の水分貯留
- 身体が重だるい : 筋肉内の浮腫
- 胃腸症状（悪心、嘔吐、下痢） : 吸収阻害による消化管内の水分貯留
- めまい : 内耳や頭蓋内の浮腫
- 動悸や尿量減少 : 血中水分量の不足

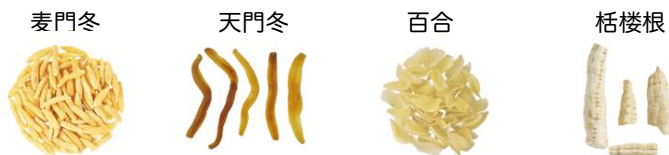
水毒関連症候

水の貯留	浮腫 胃内停水 関節腫脹 腹水、胸水	<心不全、腎炎、ネフローゼなどが浮腫をきたす代表的疾患> <胃下垂、胃弱の人に現れる> <関節リウマチ、変形性膝関節症など> <肝硬変など>
水の排泄異常	排尿異常：尿量減少 尿意頻数 排尿遅延 分泌異常：唾液過多 涙液過多 鼻汁過多 発汗過多	<腎障害や心不全> <膀胱炎> <前立腺肥大> <胃腸虚弱者> <アレルギー性結膜炎> <アレルギー性鼻炎> <自律神経失調症>
自覚症状	頭重、めまい、口渇、こわばり、水様性喀痰 下痢、動悸、耳鳴り、腹鳴、体が重い	

補津薬

体内の正常な生理的な働きをしている水分を津液といい、その津液が不足した時、津液を補う作用のある薬物をいう。

[補津薬]



滋陰薬

津液や血の不足を補う薬物をいう

利水薬

体内に滞積した非生理的水分（水滯）を利尿により除く薬物のことである。

具体的には、浮腫、関節水腫、胃内停水などの病症を治療する。水滯の病態の変形である、めまい、頭重、倦怠感、嘔気なども併せて治療することができる。

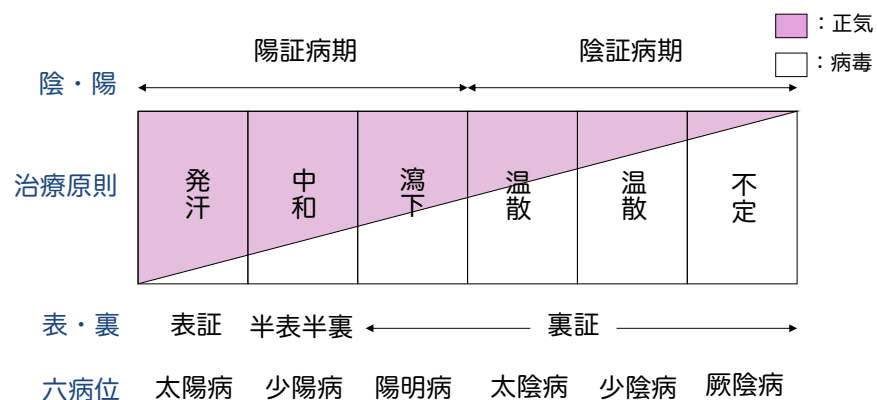
[利水薬]



処方を読み解く

	氣	血	水	熱	
補	人参 黄耆	当歸 芍薬 熟地黄	麦門冬 天門冬 栝楼根	附子 乾姜 山椒 桂皮 細辛 人参	温
	厚朴 陳皮 枳実 半夏 桂皮	牡丹皮 桃仁 川芎 紅花 当歸 芍薬	白朮 蒼朮 沢瀉 猪苓 茯苓	黄連 黄柏 黄芩 大黃 石膏	
巡					冷

陰陽と表裏と六病位の治療原則



表証：「悪寒を伴う熱感」、「頭痛」、「身体痛」
 裏証：「下痢」、「腹満」、「腹痛」
 半表半裏証：「往来寒熱」、「咳嗽」、「悪心」、「胸脇苦満」、「嘔吐」 21

漢方処方群

- | | |
|-------|------------------|
| 桂麻剤 | : 桂皮、麻黄 |
| 柴胡剤 | : 柴胡、黄芩 |
| 大黄剤 | : 大黄 |
| 乾姜剤 | : 乾姜 |
| 人参剤 | : 人参 |
| 理気剤 | : 蘇葉、陳皮、厚朴、香附子 他 |
| 苓朮剤 | : 茯苓、白朮、沢瀉、猪苓 |
| 半夏剤 | : 半夏 |
| 滋陰剤 | : 地黄、麦門冬、天門冬 他 |
| 補血剤 | : 当歸、川芎、芍薬、地黄 |
| 駆瘀血剤 | : 桃仁、牡丹皮、他 |
| 苓連剤 | : 黄芩、黄連 |
| 石膏剤 | : 石膏 |
| 竜骨牡蠣剤 | : 竜骨、牡蠣 |
| 附子剤 | : 附子 |
| 地黄丸類 | : 六味丸の生薬 |

重要漢方処方



第17改正薬局方第二追補までに記載されている漢方エキス製剤

- | | | | |
|-------|-------|-------|----------|
| 葛根湯 | 加味逍遙散 | 柴苓湯 | 大黄甘草湯 |
| 補中益気湯 | 苓桂朮甘湯 | 半夏厚朴湯 | 桂枝茯苓丸 |
| 黄連解毒湯 | 小青竜湯 | 芍薬甘草湯 | 小柴胡湯 |
| 六君子湯 | 釣藤散 | 八味地黄丸 | 牛車腎気丸 |
| 十全大補湯 | 柴胡桂枝湯 | 柴朴湯 | 大建中湯 |
| 麦門冬湯 | 真武湯 | 半夏瀉心湯 | 当歸芍薬散 |
| 乙字湯 | 大柴胡湯 | 麻黄湯 | 葛根湯加川芎辛夷 |
| 加味帰脾湯 | 桃核承気湯 | 防己黄耆湯 | 防風通聖散 |
| 抑肝散 | 五苓散 | 呉茱萸湯 | |